

## 蚊成虫・幼虫調査用機具

商品名	使用用途	型式	動力	重量	対象	使用方法
<p>CDCミニチュアライトトラップ</p>  <p>生きたまま捕集できる 電池式なので設置場所を選びやすい</p>	CO2トラップ法	ファン式吸引捕集	単一電池4本	0.7kg	蚊成虫	<p>新聞紙に包んだドライアイスを保冷容器に入れ、トラップの上あるいは脇につらし、翌日捕獲された成虫を回収する。 地上1.6～1.8mの位置になるように、樹陰に吊るす。 木に吊るすことができない場合は、三脚などを利用する。 月明かり、街灯や庭園灯の光の影響をうけないようにする。 建築物から1m以上遠ざける。 捕獲された蚊を逃がさないようにするために、電池の残り消費量に注意する。また、回収が終わってから電源を切る。</p>
<p>BG-センチネルトラップ</p>  <p>主にヤブカを捕獲対象に設計</p>	CO2トラップ法	ファン式吸引捕集	12Vバッテリー	1.7kg	蚊成虫	<p>新聞紙に包んだドライアイスを保冷容器に入れ、トラップの中に置く。 誘引剤を取り付ける。 上部50cmの範囲に何も無い茂みの付近に設置する。 直射日光の当たらないようにする。 翌日捕獲された成虫を回収する。</p>
<p>蚊の生息調査キット</p>  <p>幼虫と成虫の調査ができる内容物</p>	<p>すくい取り法</p> <p>人囀法</p>	<p>幼虫捕集用 ひしゃく 白バット ストレーナー スポイト ピペット ピンセット 洗浄瓶 遠沈管 絶縁テープ 油性ペン コンテナ</p> <p>成虫捕集用 捕虫網 吸虫管 捕集容器</p>	人力	—	蚊幼虫 (ボウフラ)	<p>表層すくいとり法: ひしゃくを約45度の角度でゆっくり沈めながら、水面を漂う幼虫や蛹をすくいとる。 完全水没法: ひしゃくを幼虫脇から迅速に下方に沈め、中に入った幼虫や蛹とともに迅速に引き上げる。 浮遊物の付近や隅に潜む幼虫をすくい取るようにするとよい。 浅い水たまりはストレーナーですくい取る。 口の小さな水溜りはスポイトで吸い取る。 幼虫は白トレーで選別して、遠沈管に入れて持ち帰る。</p> <p>蚊の潜んでいそうな場所に8分間立ち、蚊が飛来してきたところを網で捕獲する。 網を振った後は、捕獲した蚊が逃げないように口を閉じておく。 吸虫管で網から捕集容器に移しかえる。</p>